

那須烏山市における歴史的建造物を活用した地域づくりについての一考察

足利工業大学 工学部 都市環境工学科
 福島研究室(土木史研究室)
 加藤 祐伴 橋本 和貴

1 研究の目的

現在、地方都市の活性化方策として、地域の個性を活かしたまちづくりが模索されており、その一手法として、地域の歴史を今に伝える歴史的建造物の活用が試みられています。本研究室では昨年度の卒業研究で栃木県那須烏山市の歴史的建造物の調査を行いました。今年度は昨年度の成果を踏まえて、これらの歴史的建造物の具体的な活用について検討を行いました。

2 昨年度の成果と今年度の方向

昨年度の調査の結果、那須烏山市の旧烏山町の歴史的建造物として近代化遺産13件、および蔵73件を確認しました。今年度は、近代化遺産4件について解説板の設置を行うとともに、また蔵については、現在市が管理可能な2棟についてその具体的な活用手法の検討を行うこととしました。

遺産区分	遺産名
土木遺産	境橋
鉄道遺産	国鉄烏山駅舎
軍事遺産	東京動力機械製造株式会社地下工場跡
洋風建築物	烏山病院

今年度解説板設置予定の遺産



JA所有蔵



個人所有蔵

3 近代化遺産の活用

解説板制作のコンセプトとコンテンツを考え、それを盛り込んだ解説板デザインを制作しました。右に解説板作成にあたってのコンテンツ・コンセプト・構成デザイン・完成までの流れを示します。斬新かつ地域のプライド醸成とその増幅、および平易な内容構成を基本としました。

【斬新な解説板】
・従来にない工夫
【地域のプライド・意識改革】
・地場産素材の使用
・遺産への興味の増幅
・興味から誇りへの転換
・まちづくりへの併用
【伝えたいことを明確にする】
・遺産の遺産名・区分
・わかりやすい解説

解説板作成コンセプト

【コンテンツ】
・遺産名
・遺産区分
・所在地
・構造形式
・建造年
・主たる特徴
【特殊コンテンツ】
・豆知識の導入
・カラー写真の挿入

解説板作成コンテンツ



解説文構成デザイン



解説板設置風景



石板へのカラーコピー



完成した解説文デザイン

4 蔵の活用

今回検討する蔵2棟の内1つの用途は情報発信施設としました。また残る1棟については、現在当該地域に必要と考えられる機能を抽出し、多目的に利用可能な施設を考えることとしました。この2つの用途に対する付加機能・問題点を検討するため、全国における同様の活用事例を書籍・インターネットから抽出し、その管理者・運営者にアンケート調査を行いました。その結果から本計画案に反映させることとしました。

	機能	設備および内容
1	観光情報発信	・ニーズに合ったパンフレットの導入 ・観光案内を説明する職員の常駐 ・新たな観光客誘致システムの構築
2	地域の歴史・文化・伝統の紹介	・DVDやビデオの活用 ・地域の昔話や民話の紹介
3	地場産品の販売	・地元の農産物 ・お土産の販売 ・アンテナショップシステムの構築

情報発信施設の機能と設備

5 まとめ

(1) 近代化遺産

近代化遺産の解説板を栃木県の代表的な石材である芦野石を用いて制作しました。石材へのカラーコピーによる解説板の制作は新たな試みであり、解説文と併せ地域の誇り・プライドの醸成に大きな効果があるものと考えています。

(2) 蔵

今回は2棟の活用案の提示を行いました。当該地域では初となる情報発信施設と、さらに多目的機能の“日捲りの”活用手法の導入は、新たな手法としてその経緯と効果の確認を基に、さらに創意工夫の検討が必要であると考えます。